

ボランティア連絡会



SUITAすまいる

吹田市ボランティア連絡会ホームページアドレス
https://suitashiboraren26.jimdofree.com/



第134号

編集・発行

吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター
吹田市ボランティア連絡会

〒564-0072 吹田市出口町19番2号
市立総合福祉会館内
TEL (06) 6339-1210



▲たくさん学んだ!たくさんのお土産



▲まさに花さじき



▲語り部のお話に心響いて...

ー広めよう深めようボランティア活動ー ボランティア元年と言われる 阪神淡路大震災の跡を訪ねて

朝から太陽が照り付け、暑い一日になりそうです。

出発して1時間半余りで明

石海峡大橋、海の上を走る気

分は爽快でした。着いた先は

今日一番目の目的地「北淡震

災記念公園」。語り部の生々し

い体験のお話では開口一番

「自然の力は人間の力ではど

うしようもない」。普段からの

心構えが大事。各方面からの

救援・支援への恩返しは一日

も早い復興である。窮状の最

中にある「恩返し」に思い至

られたことに感動しました。

海辺のレストランでの昼食

の後、「一番目の目的地」あわじ

花さじき」。緑いっぱいの山道

を登りきった所は一面のお花

畑・・・とはならなかったも

の左に明石海峡大橋、目の

前に海、青い空に入道雲がモ

クモク。まるで絵に描いたよ

うな景色を堪能しました。

企画をして下さった方、運

んで下さったバスの運転手さ

んに感謝してまさしく、暑い

一日を過ごさせていただきま

した。

点訳グループ「あい」

田窪 知子

吹田市ボランティア連絡会 行事案内

●みんなの健康展

日 時 令和5年9月9日(土)13時~17時
10日(日)9時半~16時

場 所 メイシアター

V連絡会 コーナー 猫のマグネットフック作り、点字体験、ボランティア相談、コスモスの会(日曜のみ)、ステージ発表

●歩行寿命を延ばそう!ウォーキング講座

日 時 令和5年11月20日(月)13時半から15時

場 所 総合福祉会館

●親睦交流会

日 時 令和6年1月10日(水)

場 所 メイシアターレセプションホール

吹田市社協ボランティアセンターからの お知らせ

◆赤い羽根共同募金運動が

10月1日から全国一斉に始まります。

「自分の町を良くするしくみ」をテーマに福祉施設や地域福祉活動を行う団体・ボランティア団体などに役立てられる募金として、また、市民の皆さまの優しさや思いやりを届ける運動として今年も始まります。(12月25日まで)V連絡会は、10月6日(金)南千里駅周辺、10月16日(月)JR吹田駅周辺で街頭募金活動を行います。ご協力よろしくお願いいたします。

●問い合わせ:吹田地区募金会(吹田市社会福祉協議会内)
☎(06)6339-1254/1205

◆子育て支援傾聴ボランティア養成講座

「相手にゆっくり寄り添い、お話を聴く活動です(5回講座)」

日 時 9月22日(金)、10月4日(水)、12日(木)、18日(水)、25日(水)いずれも午前10時10分から正午

場 所 夢つながり未来館 定 員 先着20名

参加費 2,000円 申し込み期間 9月1日(金)から9月15日(金)

◆歌体操ボランティア養成講座

「歌体操のボランティア活動始めるための5回講座です。

日 時 10月6日、13日、20日、27日、11月10日

いずれも金曜日の午前10時から正午

場 所 総合福祉会館 定 員 先着20名

参加費 無料 申し込み期間 9月1日(金)から9月29日(金)

●お問い合わせ・申込みは ボランティアセンターまで
TEL(06)6339-1210 FAX(06)6170-5800
メール suisyakyo@mua.biglobe.ne.jp



▲伸びすぎた枝をパツン

吹田ボランティア 檜谷 博

V活動を通じて、沢山の人の出会い・繋がりは、長期の単身赴任で吹田に戻ってきた友人・知人が皆無であった私にとってかけがえのない大切な時間になっています。

シルバー年齢を迎え、スポーツで「身」を鍛え、Vで「心」を尽くす日々をこれから継続して健康な心身を育んでいきたいと思っています。

シニア世代
私のボランティア

退職後、有意義な日常生活シニアを営むことを目的に「吹田協Vセンター」「ラコルタ」等のアドバイスで開始したV活動も2年経過し、現在では「まちなか水族館」「里山倶楽部」「わかばの会」「吹田ボランティア」4つの団体に所属し、充実した日々を過ごしています。

イオン幸せの黄色い
レシートキャンペーン
呼びかけ活動

イオン北千里店にV連3名が地下1階のレジ前に立ちました。梅雨入りでもあり、朝から雨がポツポツと降り、出足が悪いのではないでしたが、徐々に人出は増え、「黄色いレシートキャンペーンにご協力を」と私たちは精いっぱいのアピールをし、私たちの活動紹介のリーフレット配布もさせていただきました。

この取り組みは、毎月11日の「イオン・デー」に実施。お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函し、集まったレシート合計金額の1%分のギフトカードをイオンが各団体に寄贈されるものです。V連では活動に必要な事務用品を中心に活



▲ご協力をお願いしまへす

用させていただいています。子供たちがぎこちない手でレシートを投函し、バッグからレシートを探る若者、頑張つてと声をかけて下さる高齢者など、多くの市民の皆さまの気持ちを無駄にしないようにと心に強く思ったひと時でした。

▲黄色いレシートは捨てずにBOXへ

編集後記

私は「グループあめんぼ」に属し、施設や学童を訪問して、紙芝居・絵本の読み聞かせやハンドベルで童謡・季節の歌を聞いてもらっています。参加者の笑顔や「またきてね」の言葉に喜びを感じ、次は何を聞いてもらおうかと仲間と企画や練習を楽しんでいます。未熟な公演ながらも、一時を共に、楽しめる時間を大切にこれからも活動を続けたいと思っています。

篠原 エリ子

コミュニティサロン

2か所で開催しています。

☆夢つながり未来館 2階会議室
毎月第1木曜日
午後2時から4時まで
☆総合福祉会館 2階ボランティア室
毎月第2・4火曜日
午後1時から3時まで
切手やプルタブの整理を行っています!



猫のマグネットで沢山の人を招きます！
みんなの健康展(9/9、9/10)に向けて

今年度はほぼコロナ前の規模で開催されます。V連は展示室で手づくりコーナー、点字体験、ボランティア相談を担当します。今年の手作り作品は「猫のマグネットフック」に決定。たくさんご来場いただいても対応できるように、ボランティアセンターで開催のコミュニティサロンに参加されている皆さんに、暑い中協力いただきフェルトと厚紙を



▲組み合わせは何通りあるかな？



▲楽しく準備作業

「歌うよろこび、集うよろこび」千里市民センター大ホール
「ゴスペル18」16周年ライブで受付を担当、依頼者は作業の流れを文書、口頭で丁寧に説明されました。とは言え、始まるまではドキドキ。活動内容は、予約されている観客200名ほどの名簿のチェック、プログラムと再入場用のリストバンドの配布、案内など。開場時間になると一気に来場され大忙し。名簿の文字が大きくて見やすく、お客様の方が先にご自分の名前を見つけられることも。

扉が閉じられると遅れて来られた方は急な階段を上り2階の入り口へ案内します。小さなお子様連れの方もおられたので怪我無く終えることができ安堵しました。集計や片付けをして5時半解散。沢山の感謝を頂き足取り軽く会場を後にしました。



▲迫力満点



▲叩いて叩いて

吹田市立博物館
さわる月間
6/17
展示物を触ってみる企画展
初日・わくわく体験。
草木のたたき染めは石でた

たいて染める過程で漂うハーブや花の香りも楽しみながら作業できます。葉脈に花びらの形まで綺麗に染まり歓声が上がりました。
点字体験では名刺・しおりに点字で、名前や文字を書いて視覚障害の方に指で触読してもらってにっこり、点を打ってアート作品完成にご満悦の方も。
さわって読むカレンダー・絵本や道路地図(吹田市製作)にも関心度が高く熱心に触っておられました。4年ぶりの開催とあっていずれのコーナーも体験者数100人超えの盛況でした。(点訳の会「円」)

Withコロナになって
新規・再開活動状況紹介

ほっと吹田
「介護情報座談会」を再開。多くの方が参加してくださり感謝感激。回想法出前も介護施設にて再開しました。

シニアコミュニティクラブ吹田
車椅子、アイマスク体験などの学校福祉授業支援が始まりました。地域に住んでいる方がVとして参加。

吹田ボランティア
吹田市健康医療部より新規に保育の依頼あり。「吹田子ども本連絡会」の講座での保育も再開します。

ボランティアグループ「花から」
内本町コミセンではつつつ体操のサポート、施設での夏祭りのお手伝いが再開しました。

吹田市青少年活動研究会
3箇所のデイサービス、3箇所の公民館と施設でクラフト活動がやっと5月より再開しました。

歌体操介護予防市民塾
コロナ解除で施設から活動再開の依頼が2件入りました。第9波に注意しながら活動していきます。

朗読工房
さんくす図書館にて4月から月1回、幼児対象の「朗読工房おはなし隊がやってくる!」がスタート。

セラピー点訳の会
毎月の定例会、勉強会が再開。イベントも始まり点字体験のお手伝い、多くの人々との交流を大切に。

SA吹田おもちゃづくり市民塾
7月に4年ぶりの青少年対策委員会主催の「ファミリークラフトのつどい」に諸団体とともに参加。

吹田市社会福祉協議会(以下吹社協)のボランティアセンター担当の水田真澄さんにお話を伺いました。

ボランティアセンターとボランティア連絡会(以下V連)の関係
V連は、ボランティアセンターに登録の89グループのうち、グループ同士の横の繋がりを大切に共に活動しようと任意で集まっている団体です。ただいま24グループが加入しています。吹社協とV連は両輪でまちづくりに取り組んでいます。



ボランティアセンターの仕事
●ボランティアに関するあらゆる相談に応じます。
ボランティアしたいけど…ボランティアに来てほしいけど…ボランティアってどんなことをするの?…etc.
●V依頼者(施設や団体・個人)と登録しているVグループとのマッチング。
●講座やボランティアセンターまつりを開催して多くの市民にV活動に関心を持っていただき参加していただく機会を作る。
●仲間作りやボランティアの窓口としてコミュニティサロンを開催。



ボランティアセンターとV連の今後
ボランティアセンターはこれからもボランティアの皆さまと共に、住みよいまちづくりをすすめていきたいとの話があり、V連としても今後もボランティアセンターと連携をしながら、さまざまなイベントや行事に積極的に協力・実施し吹田のボランティア活動を盛り上げていきたいです!いつもありがとうございます!!

インタビューしてみても…
ボランティア活動をしたくてもなかなか一歩が踏み出せない方もいる中で、ボランティアセンターが窓口となってその方に合った活動を紹介し、活躍の場へと繋げているということの水田さんの言葉から知ることが出来ました。V活動希望者と私たちボランティアグループを繋いで頂くなど、大変有難い環境も作っていただいていると感じました。



▲将来につなぐ講演

大阪府市町村
ボランティア連絡会総会
大阪府社会福祉会館
5/29
コロナが5類になりマスクを外した参加者もちらほら見受けられる総会でした。事業報告では3年ぶりに対面を交えた研修会・交流会を開催しV団体同士での情報交換ができたこと報告されました。予算についての質疑応答では活発な議論が交わされ、予定時間を超過するほどでした。続いていつも私達V連がお世話になっている京都光華女子大学教授石井祐理子氏による「これからのV活動を考える」をテーマに講演でした。
コロナ禍がもたらしたV活動への影響課題に対し、Vは活動の内容を見直す、新たなニーズに応える、新たな仲間(Z世代)と活動するなど、工夫をしながら「Vは思いを止めない!」と優しい関西弁で締め括られました。